

## 演習問題 構造文章題 1

「得点できたかどうか」「○か×か」ではなく、問題文を読んだ時に、「その関連の知識が、頭の中にどう収納されているのか、フォーカスポイントはどこか」を簡単に余白に描き出してみてください

### ウラ模試 1

[No.8] 地震力等に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 地震地域係数  $Z$  が 1.0, 振動特性係数  $R_t$  が 0.9, 標準せん断力係数  $C_0$  が 0.3 のとき, 建築物の地上部分の最下層における地震層せん断力係数  $C_i$  は 0.27 とすることができる。
2. 地表に設置された高さ 4m を超える広告塔に作用する地震力については, 一般に, 水平震度を  $0.5Z$  ( $Z$  は地震地域係数) 以上として計算する。
3. 地下部分の地震層せん断力は, 「地下部分の固定荷重と積載荷重との和に, 当該部分の地盤面からの深さに応じた水平震度  $k$  を乗じて求めた地震力」と「地上部分から伝わる地震層せん断力」との和である。
4. 建築物の設計用一次固有周期  $T$  が長い場合, 第一種地盤より第三種地盤のほうが建築物の地上部分に作用する地震力は小さくなる。

### ウラ模試 2

[No.8] 建築基準法における荷重及び外力に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 建築物の設計用一次固有周期  $T$  は, 建築物の高さが等しければ, 一般に鉄筋コンクリート造より鉄骨造のほうが長い。
2. 地下 2 階, 地上 10 階建ての建築物の地上部分のある層 ( $i$  層) の地震層せん断力は, 地震層せん断力係数  $C_i$  に, その層が支える部分 ( $i$  層以上の部分) 全体の固定荷重と積載荷重との総和 (多雪区域では積雪荷重を加える。) を乗じて求める。
3. 閉鎖型の建築物における風下壁面の風力係数は, 地盤面からの高さによらず一定値であるが, 風上壁面の風力係数は, ある一定高さより上部においては, 地盤面からの高さが高くなるほど大きい。
4. 同一の建築物において, 風圧力の計算に用いる速度圧  $q$  は, 一般に, 地盤面からの高さが高い位置の部位の計算に用いる値ほど大きい。